



# TCCCA ニュースレター Vol.24



## 利活用セミナー ～自然エネルギーでもっと豊かに～

2月26日(日)北栄町北条農業改善センターで、地域住民が主体的に自然(再生可能)エネルギーに関わる重要性と意義について、町民など約30名が学びました。



鳥取県次世代エネルギー室吉田室長

**主催者挨拶**  
自然エネルギーの意義を再発見し、更なる地域の良さにつながることを期待しています。

### 北栄町の「風のまちづくり事業」

もとは地域の負の財産と考えられていた日本海から吹く風への対策と活用のため平成17年に、町が主体となり風車を9基建てました。2012年からの再生可能エネルギー固定価格買い取り制度(FIT)により売電収入が増加したことで、さらなる地域事業に取り組めること



地域整備課課長補佐 徳山氏

になりました。

町では、その売電収入を利用し2013年から「風のまちづくり事業」に取り組んでいます。町内防犯灯の



LED化や環境イベントの開催など環境にやさしいまちづくりを推進しながら、住民の環境意識の高揚にもつなげたいと考えています。



住民生活課生活環境室室長 前田氏

### 自然エネルギーで地域を豊かに

地球温暖化が深刻な問題になり、パリ協定では2100年に向けて「脱炭素化」が掲げられました。今後、地域から「脱炭素」にそった大きな変革を起こすことが求められます。北栄町を含め、鳥取県は再生可能エネルギーのポテンシャルが高いようです。地域資源を最大限に活用し、自治体や地域住民が共同で発電事業をすることは、地域内の経済循環につながるチャンスです。

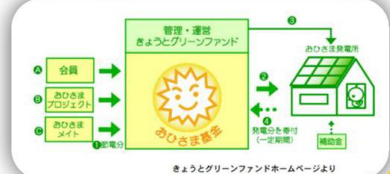


田浦氏



北栄町が、再生可能エネルギー100%を達成し、住み

続けたい魅力のある町となることを期待しています。



### 閉会挨拶



自然エネルギーの利活用は簡単ではないが、すでに各地で始まっている。力を合わせて一歩一歩、取り組んでいきましょう。

鳥取県地球温暖化防止活動推進センター 岡崎センター長

北栄町では、もとは迷惑だった日本海からの風をうまく活用して風力発電を行いCO2を削減し売電収入を町民に還元しているとのこと。それが街灯をLEDに付け替えるなど温暖化対策になることは自治体直営だからこそできることだと思いました。現担当者が知る限りで他の風力発電所に比べて苦情が少ないという事も、町民に利益があることから納得できます。地球温暖化対策にもっと取り組む地域を増やすためにも北栄町の取組をさらにPRし、県全体に広げたら良いと思います。

### 参加したエコサポーターズさんの感想より



田浦さんの「自然エネルギーで地域を豊かに」では日本各地での自然エネルギーの市民主導での活用を紹介して頂きました。温暖化対策は運用次第で生活の質を向上させることも気づきました。似たような国としてブータンを思い浮かべました。経済的には決して豊かではなくともカーボンニュートラルを宣言し、自分を幸福だと感じる国民が世界一多い国だそうです。今回参加して、エコサポーターズとして北栄町の取組を活かし、ブータンのような本当の豊かさや幸せを実感できるような地域づくりをしたいと思います。